

R Cと野辺西高生が植栽

【野辺地】野辺地ロータリークラブ（熊谷一成会長）は9日、野辺地西高校にマリーゴールドの苗120株を贈り、メンバー8人が1年生60人とともに同校で植栽作業を行った＝写真。

野辺地R Cと同校インターアクトクラブによる「花で笑顔の輪を広げよ



う！プロジェクト」の一環で2022年から実施。同校は来年4月に五戸町に移転するため、今回は最後の活動となる。

野辺地R C社会奉仕委員会の百田忠委員長が「花は見た目もきれいだし、みんなで作業することで気持ちの美化にもつながる」とあいさつ。R Cメンバーと生徒が協力して花の苗を3株ずつプランターに植え、校舎正面などに飾った。この日が誕生日という同校の堀越功大さんは「誕生日にこういう体験ができてうれしい。学校に来た人たちに、色鮮やかな花をぜひ見てほしい」と話した。

（本田海輝）